

平成 22 年度骨折治療用内固定材の不具合情報調査に ご協力をお願い

謹啓

初秋の候、評議員の先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日本骨折治療学会では、骨折治療用インプラントの不具合情報を収集・分析することによって、骨折治療の発展、安全性の向上に役立てたいと思っております。つきましては、評議員の先生方の勤務する、あるいは勤務しておられた施設でのインプラント不具合の調査を行いたく、ご多忙中とは存じますが、ご協力お願い申し上げます。

今年度は平成 22 年 10 月 1 日より平成 23 年 3 月 31 日までの期間といたします。調査はインプラントに関わる不具合全例報告(インシデント報告を含む)といたします。インプラントの不具合とは、調査票のごとく、挿入困難 破損 逸脱 変形 抜去困難などで術者の技量レベル、インプラントそのものの不良の場合等すべての有害事象が発生・判明した時点で情報を日本骨折治療学会事務局へ送付いただきたく存じます。アンケート用紙は一部送付いたしますが、多数例の場合はコピーあるいは学会ホームページよりダウンロードしてご使用下さい。

(例:K-wire、軟鋼線にて tension-band wiring を行ったが、wire が切れてしまった。)

昨年度の調査は履歴を一切残さず秘匿性を高める目的で封書による郵送方式とし、封筒はシュレダーにかけておりましたが、今年度はより詳細な検討をしたく、追加調査をすることも想定しております。恐れ入りますが追加調査のために病院名(電話番号・FAX、メールアドレス等)、記入者名を記していただきたく存じます。尚、追加調査に関しましては最低限必要な場合のみとしますので、ご回答いただく調査票には記載漏れ等が無いようお願い申し上げます。また、この調査票は不具合が発生した際には、そのたび毎にお送りいただきたく存じます。

尚、発生率を知るため、年度末には内固定材の不具合がなかった場合にも貴院・貴施設の平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの骨折手術(抜釘・追加手術等を含めて)例数と不具合発生の有無につき、ご報告をいただきたく存じますので、合わせてよろしくお願い申し上げます。

定点となった20施設においては必ず報告して頂くよう重ねてお願いいたします。

今回は回答の有無について施設名を公表する予定でありますので御承知おきください。

平成22年9月 吉日

日本骨折治療学会 理事長
担当理事
インプラント委員会委員長
アドバイザー

松下 隆
中野哲雄
南里泰弘
田中 正